

情 報 公 開 文 書

研究の名称	新型コロナウイルスに対する高力価ヒト・モノクローナル中和抗体の作出
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学学術研究部医学系 臨床分子病態検査学講座・准教授 仁井見英樹
研究の概要	<p>【研究対象者】2020年2月1日～2020年11月31日に富山大学附属病院に外来受診・入院した患者様で、新型コロナウイルス感染症と診断された患者様（約200例を予定しています）</p> <p>【研究の目的・意義】現在、世界各地で新型コロナウイルス感染症への対策が大きな課題となっています。しかし新型コロナウイルス感染症に治療効果の高い治療薬は未だ存在せず、一刻も早い治療薬の開発が望まれています。</p> <p>この課題を解決する手段の一つとして、新型コロナウイルスに対する抗体医薬品が待ち望まれています。抗体医薬品は特定のウイルスを認識して消滅させるため、正常で健康な細胞にあまり影響を与えません。その結果、副作用の発生を抑えることが出来る他、医薬品の研究・開発の時間を大幅に短縮することにもつながり、日米欧では既に70品目を越える抗体医薬品が承認されています。</p> <p>本研究は、富山大学独自の臨床経験と技術を結集することで、新型コロナウイルス感染症への治療効果の高い抗体医薬品（高力価ヒト・モノクローナル中和抗体）を迅速に作出することを目的とします。本研究の結果、新型コロナウイルス感染症への効果的な治療が行えるようになると期待されます。</p> <p>【研究の方法】新型コロナウイルス感染症と診断された患者様の「過去にストックされた血清検体」を用い、新型コロナウイルスの抗体検査（活性 assay 含む）を行います。この検査のために改めて血液を採取することはありません。</p> <p>【研究期間】2020年承認日～2022年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】学会・論文発表あるいは公開の報告書といった形で行われますが、特定の個人が発表成果から同定できないように十分配慮されます。</p> <p>【利益相反に関する状況】富山大学・学長裁量経費を用いて実施</p>
研究に用いる試料・情報項目と利用方法（他機関への提供の有無）	過去にストックされた血清検体および新型コロナウイルス感染症に関わる検査結果を用います。本研究に関する試料・情報は富山大学のみで解析を行い、個人が特定される可能性のある個別データを全て削除した上で保管します。
試料・情報を利用する機関及び施設責任者	研究実施機関：国立大学法人富山大学 学術研究部医学系、学術研究部工学系 施設責任者：富山大学学術研究部医学系 臨床分子病態検査学 仁井見英樹
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学学術研究部医学系 臨床分子病態検査学講座・准教授 仁井見英樹
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話/FAX: 076-434-7759, E-mail: hiniimi@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名 富山大学学術研究部医学系 臨床分子病態検査学講座 准教授 仁井見英樹</p>

